

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 27 年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学

3. 研究種目名 基盤研究(C)（一般） 4. 補助事業期間 平成 27 年度～平成 29 年度

5. 課題番号

1	5	K	0	2	0	3	7
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 近世中国におけるムスリムの問答体文献の研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
7 0 4 4 7 6 7 1	サトウ ミノル 佐藤 実	比較文化学部	准教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

研究対象である王岱輿の著作（『希真正答』、『正教真詮』、『清真大学』）の版本を国内外に広く収集し、電子テキスト化した。『希真正答』については更に校訂作業中である。校訂作業をすすめながら『希真正答』の内容の分析を行ない、イスラームからみた儒教、仏教、道教の検討を行っている。また『希真正答』の本文の後に付された「附録」「刺語」を、王岱輿の思想を後世に受けつぐものとしてその特徴をおさえ、『希真正答』の本文、「附録」「刺語」三者の関係の解明をめざしている。いまのところ仏僧との議論が集中的になされている箇所注目し、仏教思想との関連を注視している。仏僧にたいする批判的な言説がとりわけ目立つことが明らかになっている。当時の儒仏道関係を視野にいれつつ『希真正答』の分析を行っていきたい。

また王岱輿の次世代のムスリム学者である劉智の代表的著作『天方性理』の分析もあわせておこなっている。『天方性理』はただ単にイスラームの思想を喧伝するのではなく、ジャーミーの『ラウーフ（閃光）』を確実にふまえつつ、儒教の最重要經典である『大学』『中庸』そして『論語』、さらには老荘思想を援用して再構築することで、より普遍的な思想を構築しようとしていたことが明らかになりつつある。こつした壮大な哲学大系が構築される背景には、王岱輿の中国伝統思想にたいする批判的な言説が基盤にあったのではないかと考える。王岱輿思想とその継承を考える上で非常に有益な『天方性理』読解も並行して行っていく。

10. キーワード

- | | | | |
|-------------|---------|----------|-------|
| (1) 中国イスラーム | (2) 王岱輿 | (3) 希真正答 | (4) |
| _____ | _____ | _____ | _____ |
| (5) | (6) | (7) | (8) |
| _____ | _____ | _____ | _____ |

11. 現在までの進捗状況

(区分) (2) おおむね順調に進展している。

(理由)

『希真正答』の電子テキスト化がほぼ完成したため、校訂作業そして内容読解作業へとスムーズに進んでいるため。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

『希真正答』の読解、分析を最優先に研究をつけていく予定である。問答体文献として、馬注(1640年頃 - 1711年)『清真指南』巻6・問答や金天柱『清真積疑』、唐晋徽(1820年頃 - 1900年)『清真積疑補輯』などとの比較によって、問答体文献としての特徴も検討したい。また劉智『天方性理』の解読も並行しておこなうことで、王岱輿の思想の系譜を相対的に議論することを目指す。さらに今年度は中国本土のモスク(清真寺)調査も実施予定である。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

学内業務のため海外調査を実施できなかったため。

(使用計画)

今年度は海外調査を実施する。

(課題番号: 15K02037)

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

13. 研究発表(平成27年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件/うち査読付論文 計(0)件/うち国際共著 計(0)件/うちオープンアクセス 計(0)件

著者名		論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
オープンアクセス						

(学会発表) 計(0)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(0)件

発表者名		発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所	

(図書) 計(0)件

著者名		出版社	
書名		発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

17. 備考

--